2015 年 12 月 8 日

各位

会 社 名　シ ン バ イ オ 製 薬 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長兼 CEO　吉 田　文 紀
（コード番号：4582）
問合せ先　財 務 経 理 部 長　丸 山　哲 也
（TEL. 03-5472-1125）

抗がん剤 rigosertib（リゴサチブ）注射剤の欧米における開発状況
（第Ⅲ相国際共同試験 最初の患者登録完了）

シンバイオ製薬株式会社（本社：東京都、以下「シンバイオ」）は、シンバイオが2011年7月に導入した抗がん剤 rigosertib（以下「リゴサチブ」、シンバイオは日本及び韓国の権利を保有）の導入元であるOnconova Therapeutics Inc.（本社：米国ペンシルバニア州、以下「オンコノバ社」）が2015年12月7日（米国東部時間）、リゴサチブ注射剤に関する欧米での開発状況について発表したことをお知らせします。

本リリースの中で、オンコノバ社は、現在実施中の低メチル化剤による治療において効果が得られない（HMA 不応）または治療後に再発した高リスク骨髄異形成症候群（MDS：Myelodysplastic syndromes）の患者を対象とする第Ⅲ相国際共同試験において、最初の患者登録（First Patient in）が完了したことを発表しています。

詳細については、オンコノバ社プレスリリース（http://investor.onconova.com/releases.cfm）をご参照下さい。

シンバイオは、オンコノバ社が実施する本第Ⅲ相国際共同試験への参加を既に決定しており（2015年10月19日付　当社プレスリリースをご参照）、日本人の患者さんに本試験に参加頂くことを予定しており、日本の患者さんにも早期に新しい治療薬を提供すべく日米欧での同時承認取得を目指してまいります。

以上

※ 両社の会社概要につきましては下記をご参照ください。

【オンコノバ社会社概要】

米国ペンシルベニア州及びニュージャージー州に拠点を置く、バイオ医薬品に特化した製薬企業です。1998年の同社設立時より、がん治療並びに正常細胞の保護に注力し、自社の所有する125以上の新規化学療法薬候補からなる医薬品化学ライブラリーを基に、新規の分子・生物学的治療を目的とした低分子治療薬を発見、最適化してきました。同社は、rigosertibの全世界における開発・販売権を保有しています。同社の詳細についてはウェブサイト（http://www.onconova.com/）をご覧下さい。

【当社会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、アムジェン株式会社（現在は武田薬品工業株式会社が全事業を譲受）の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応えてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としています。